

名前 _____ 男・女 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (_____ 歳 _____ ヶ月) _____ 組
 ※ この生活管理指導表は、保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった子どもに限って、医師が作成するものです。
 提出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

★保護者
 電話: _____
 ★連絡医療機関
 医療機関名: _____
 電話: _____

| 病型・治療 | | 保育所での生活上の留意点 | |
|---|--|--|--------------------------------------|
| A. 食物アレルギー病型 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. その他 (新生児・乳児消化管アレルギー・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他) B. アナフィラキシー病型 1. 食物 (原因: 医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・昆虫・動物のフケや毛) 2. その他 | | A. 給食・離乳食 1. 管理不要 2. 管理必要 (管理内容については、病型・治療のC.欄及び下記C. E欄を参照) B. アレルギー用調整粉乳 1. 不要 2. 必要 (下記該当ミルクに○、又は()内に記入 ミルクタイプHP・ニューマー1・マーニ・ペダディアエクト・エルクタルフォーミュラ その他()) | |
| C. 原因食品・除去根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ()内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 2. 牛乳・乳製品 3. 小麦 4. ソバ 5. ピーナッツ 6. 大豆 7. コメ 8. ナッツ類* 9. 甲殻類* 10. 軟体類・貝類* 11. 魚卵* 12. 魚類* 13. 肉類* 14. 果物類* 15. その他 【除去根拠】 該当するものを()内に番号を記載 ①明らかに症状の誘発 ②食物負荷試験陽性 ③臨床検査結果陽性 ④果採取 (すべて・丸い・カヌー・チツツ・アーモンド・) (すべて・エビ・カニ・) (すべて・イカ・タコ・ホタテ・アサリ・) (すべて・イクラ・タラコ・) (すべて・サバ・サテ・) (鶏肉・牛肉・豚肉・) (キウイ・バナナ・) 【*は()の中の該当する項目に○するか、具体的に記載すること】 | | C. 除去食品においてより厳しい除去が必要なもの 病型・治療のC.欄で除去の際に、より厳しい除去が必要となるもののみ()をつける ※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。 1. 鶏卵: 卵黄カルシウム 2. 牛乳・乳製品: 乳糖 3. 小麦: 醤油・酢・麦茶 6. 大豆: 大豆油 7. コメ: 醤油・味噌 12. 魚類: かつおだし・いりだし 13. 肉類: エキス D. 食物・食材を扱う活動 1. 管理不要 2. 原因食材を教材とする活動の制限 () 3. 調理活動時の制限 () 4. その他 () | |
| D. 緊急時に備えた処方薬 1. 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アトリンリン自己注射薬「エビペン®」 3. その他() | | E. 特記事項 (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談のうえ記載。対応内容は保育所が保護者と相談のうえ決定) _____ | |
| 病型・治療 | | 保育所での生活上の留意点 | |
| A. 症状のコントロール状態 1. 良好 2. 比較的良好 3. 不良 B. 長期管理薬 (短期追加治療薬を含む) 1. ステロイド吸入薬 剤形: _____ 投与量(日): _____ 2. ロイコトリエン受容体拮抗薬 3. DSCG吸入薬 4. ベータ2刺激薬(内服・貼付薬) 5. その他() ● 保育所における日常の取り組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を保育所の職員及び消防機関・医療機関等と共有することに同意しますか。 ・ 同意する ・ 同意しない | | A. 寝具に関して 1. 管理不要 2. 防ダニシート等の使用 3. その他の管理が必要 () B. 動物との接触 1. 管理不要 2. 動物への反応が強いため不可 () 3. 飼育活動等の制限 () C. 外遊び、運動に対する配慮 1. 管理不要 2. 管理必要 (管理内容:) D. 特記事項 (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談のうえ記載。対応内容は保育所が保護者と相談のうえ決定) _____ | |
| 気管支ぜん息 (あり・なし) | | 記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 | 医師名 _____ 医療機関名 _____ 電話 _____ |